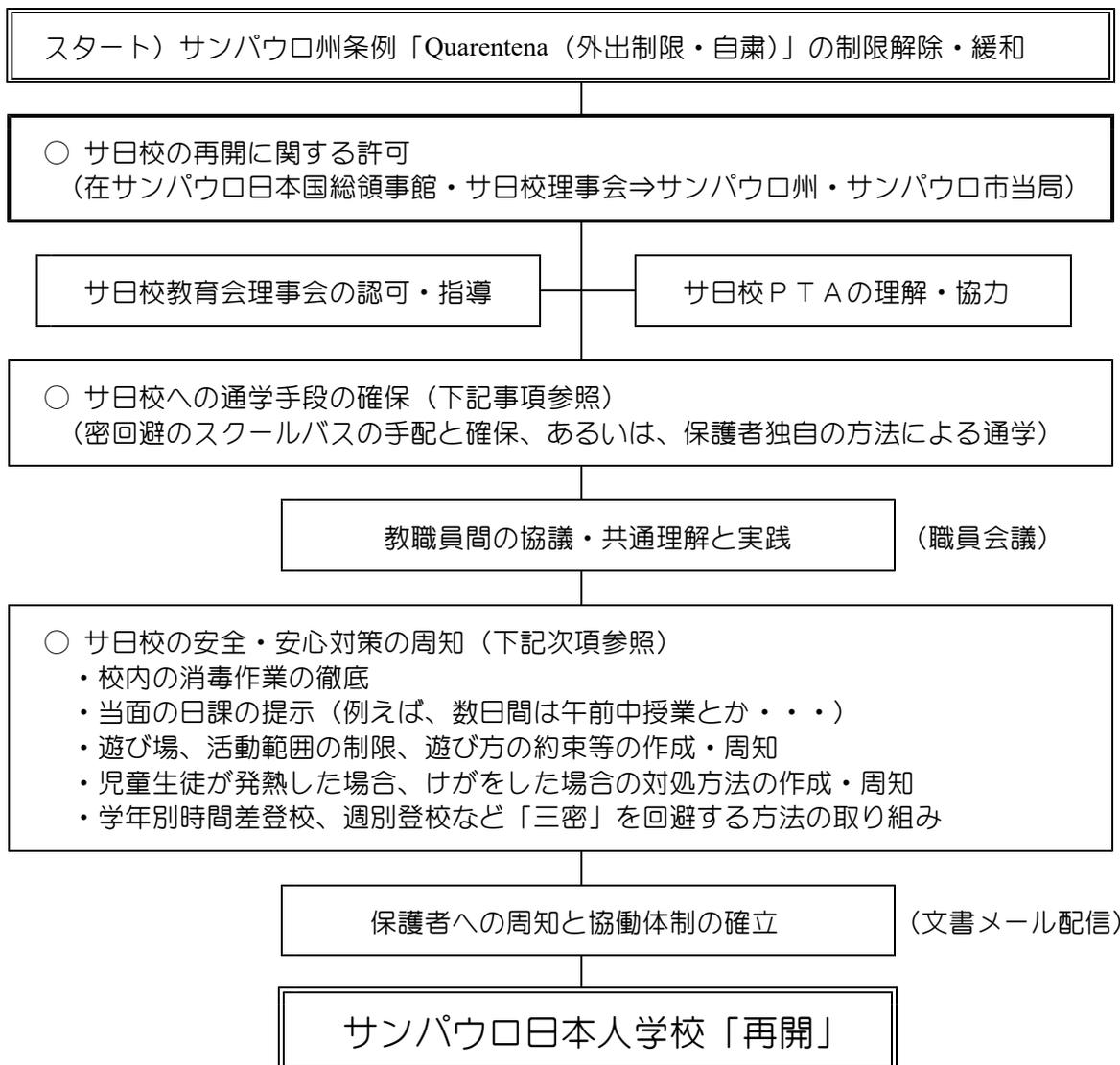


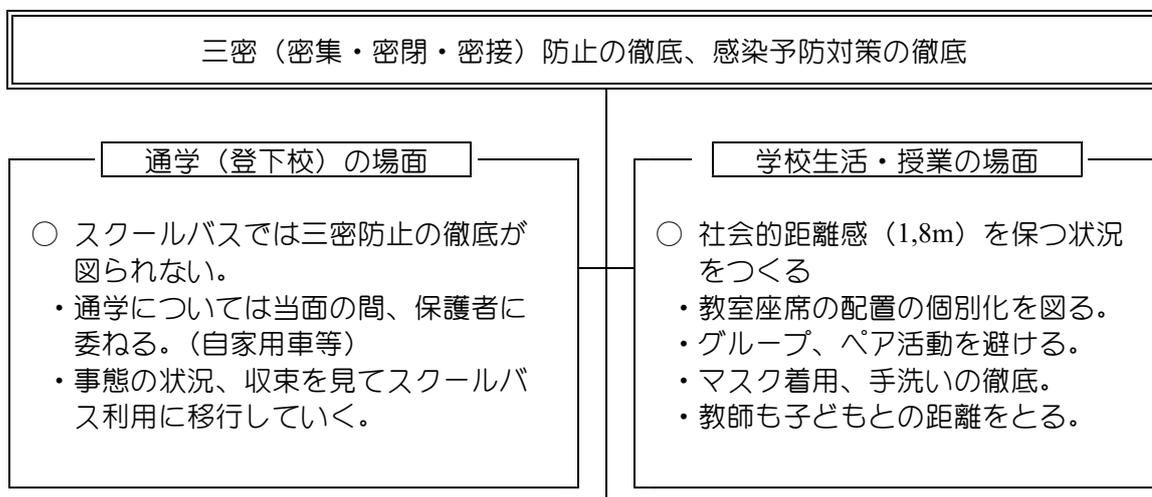
# 【サ日校再開】にむけて（シナリオ）

令和 2年 5月 9日  
サンパウロ日本人学校

## 1 《 学校再開の道筋 》



## 2 《 学校再開の要件 》



## 学校生活を安全・安心に行うための重要事項

### 〔 保健室の在り方 〕

- 保健室は、けがや病気の児童生徒の対応室として、その機能を保持させることが重要である。
  - ・家庭において、毎朝検温し、熱がある児童生徒は登校させないを徹底する。
  - ・万が一、学校で発熱した場合は保健室とは別の部屋に隔離する。
  - ・隔離の部屋としては、保健室向かいの「美術室」をあててはどうか。
  - ・リスクを負う看護師は感染対策としての防護服を身につける。

### 〔 児童生徒がけが・病気となった場合 〕

- まずは、学校内で児童生徒が、けがをしないような手立てを講じておくことが必要となる。児童生徒は長い間、運動不足に陥っている状況であることを理解する。
  - ・遊具については、しばらくの間使用を制限する。
  - ・体育の時間等は、児童生徒の様子を見ながら進めていく。
- それでも、けがや病気が生じた場合は、保護者に連絡し、迎えに来てもらうことを原則とする。
  - ・命にかかわる事案の場合は、救急車の手配やアインシュタイン病院との確認をとり、事前に保護者の承諾を得ながら判断する。
  - ・学校危機管理マニュアル（特例版）を作成し、的確な対応にあたる。

### 〔 登下校時刻についての対策 〕

- 長い期間、在宅であった児童生徒が学校の生活に慣れるまでの間、午前中授業として下校時刻を早め、様子を見ながら平常化していく。
  - ・登下校体制での過密化を防ぐため、学年別時間差登校や週別登校等を行う。

### 〔 校内消毒作業の実施 〕

- 児童下校後は、しばらくの間、職員で手分けをして校内・各教室内の消毒作業を実施する。
  - ・事務局は消毒に係る器具等を確保する。
  - ・担任は各教室内を消毒する。特別教室等は担任外で手分けして行う。学校全体は労務員さんをお願いする。

### 〔 登校できない児童生徒の学習ケア 〕

- 体調不良や諸事情（通学手段が確保できない等）にて登校できない児童生徒への学習フォローを行う体制をつくる。
  - ・これまでのオンラインの取り組みを生かし、チームを作って対応する。
  - ・自学自習の在り方について、これまでの取り組みの方法、各種サイトや共有フォルダ等の活用を生かす。

### 〔 児童生徒の心理的なケア 〕

- コロナの恐怖や環境の変化から来る児童生徒の心理的なケアに対応する体制を整えていく。
  - ・学校カウンセラーの活用促進を図る。
  - ・感染疑い等による差別化やいじめが発生しないよう、思いやりの指導を重視する。

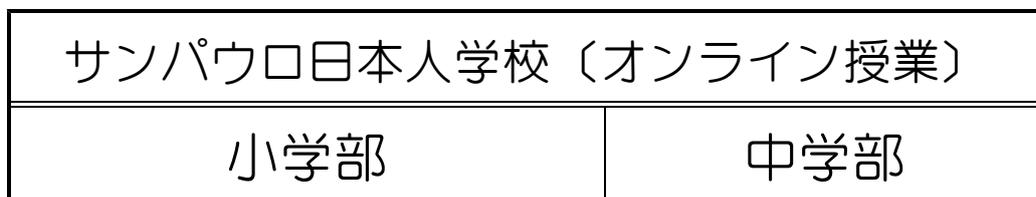
### 〔 教職員の在り方 〕

- 子どものためにベストを尽くす教職員が、健康であることが大前提となる。日々の体調管理に留意し、自ら、コロナに負けない強い気持ちを温め続ける。
  - ・万が一、体調がすぐれない場合は、積極的に休養する。

# 【サ日校再開】にむけて（ガイドライン）

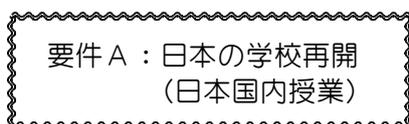
令和 2年 5月11日  
サンパウロ日本人学校

4月27日（月）



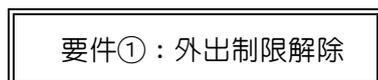
※オンライン授業の限界

6月 1日（月）

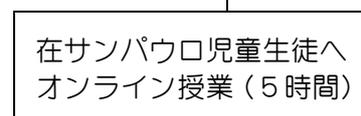
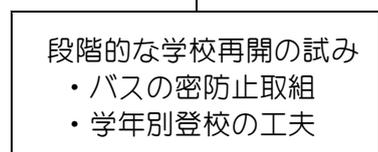
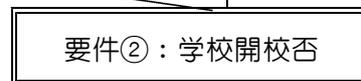
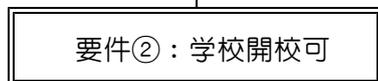


日本国内児童生徒への  
オンライン授業提供中断

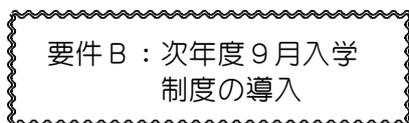
※オンライン授業  
ゴール1



※オンライン授業  
ゴール2



6月中旬



※オンライン授業  
ゴール3

